



HOPPY team TSUCHIYA  
レーズリポート  
2025 SUPER GT Rd.5 鈴鹿サーキット

日時	2025年8月23日 予選	■車両名	HOPPY Schatz GR Supra GT
■場所	鈴鹿サーキット（三重県）	■カーNo.	25
■監督	土屋 武士	■ドライバー	Q1 松井 孝允/Q2 佐藤公哉
■チーム	HOPPY team TSUCHIYA	■リザルト	予選 Q1.7位/Q2.18位(GT300クラス)

## 2025 シーズンもいよいよ後半戦に突入！今季初の Q2 進出！巻き返しへの第一歩となるか

2025 シーズンの SUPER GT。ここからはシーズン後半戦。第 5 戦は鈴鹿サーキットが舞台だ。8 月下旬とはいえ残暑が厳しい鈴鹿。連日 35 度を超える気温の中での開催となる。ドライバーはじめチームスタッフにとっても、またマシンにとっても厳しいコンディションでの戦いが予想された。後半戦巻き返しへの第一歩にできるか。HOPPY team TSUCHIYA の戦いをリポートする。

土曜日の朝、サーキットに着くと朝から強烈な陽射しが熱烈歓迎してくれた。「これはヤバい」誰からともなくそんな言葉が口をつく。しかし、午前のセッションが始まる直前から空には雲が。幾分陽射しは和らいだことで路面温度には多少影響するかもしれないが、変わらぬ、蒸し暑さのまま公式練習スタート。

### ▼公式練習<GT300 16 位 1 分 59 秒 986

>

武士監督は前日のうちから「フリー走行は S 字にいくよ」とっていた通り S 字へ。上段の座席に陣取ると熱い視線を注ぐ。

お馴染みピエール北川さんの軽快な場内実況に乗せてセッション開始。ピットロード出口から真っ先にピンクと白のマシンがコースインするのが S 字からも見えた。今回のレースには Rd.4 富士で「どこかに根本的な問題がある。それを解決する」と決めた後の最初のレース。時間がない中で、まずお盆返上でフロント周りに新しいパーツが投入された。右フロントタイヤの異常摩耗と、かねてから課題のアンダーステア解消へのアプローチだ。HOPPY team TSUCHIYA のマシン、愛称「ホピ子」が鈴鹿の S 字をまずはゆったりと通過していく。最初のドライバーは松井選手。そこから数周ごとにセッティングを変えながら走行。途中佐藤選手にドライバーチェンジをしてチェックをした後、残り時間わずかとなって、ドライバーは再び松井選手へ。武士監督から「次からニュータイヤだよ」と一言。ここまでの対策がどんな効果を生み出すのか。そんな期待のこもった一言に聞こえた。アウトラップを経て、さあタイムアタックへ。1、2 コーナーを回ってくる。3 コーナーの進入、そこから右への切り返し、どれもスムーズな挙動で通過したように見えた。結果は 1 分 59 秒台にギリギリ入れての 16 位。表情を崩しはしないものの、まずまず手応えを得た表情のようにも見えた。午後の予選は Q1 で各組上位 9 位に入れば Q2 進出。今季初の Q2 進出が見えた公式練習となった。



▼公式予選<GT300 Q1 B 組 7 位 1 分 58 秒 996/Q2 18 位 1 分 59 秒 685>

今季ここまでない期待感に包まれた中で予選、Q1.を迎えた。担当は松井選手。心なしかいつもよりも緊張感が滲む。V 型 8 気筒エンジンの野太いサウンドを残し「ホピ子」はコースインしていく。武士監督は何かを確信しているのか「Q1 は S 字で見る」と再び S 字へ。最上段で立ったままコースの方をじっと見つめる。眼前をホピ子が通過していく。スマホのライブタイミングを覗き込む。タイムが上がっていく。4 周目。松井選手がまず 1 分 59 秒 157 と公式練習のタイムを一気に更新して上位へ。各車タイムアタックに入る。次々タイムが更新されて、徐々に順位が後退、カク



トラインギリギリの 9 位まで順位が下がる。「なんとか残ってくれ」そういう思いが強まる中、松井選手が最後のアタック。セクター1 自己ベスト、セクター 2 も自己ベスト、セクター 3 は更新ならず。「どうだ…」次の瞬間、No.25 がリーダーズボードの上の方に一気に上がった！6 位。タイムは 1 分 58 秒 996。大幅にタイムアップを果たしなんと 58 秒台へ。武士監督も控えめながら喜びの表情を浮かべた。これで Q2 進出はほぼ間違いなし。最終的には 1 台に抜かれたが、しかしそれでも Q1B 組 7 位、全体 10 位で Q2 進出を決めた。

迎えた Q2。私も含め今季から加わったスタッフにとっては初めての Q2。だが、そこは歴戦の猛者が揃う HOPPY team TSUCHIYA。淡々と Q2 への作業が進む。ドライバーは佐藤選手に交代。やはり先頭を切ってコースインしていった。久しぶりの Q2 進出とあって、公式映像がホピ子を映し出す時間が心なしが長く感じる。アウトラップから 1 周回って 3 周目にタイムアタック。1 分 59 秒 840。まずまずの好タイム。4 周目。1 分 59 秒 685、これまますます。そして残り時間が短くなっていく中で最後のアタック。1 分 59 秒 767。Q1 のタイム更新はならず。Q2 は 18 位で予選を終えた。

少し悔しさの残る Q2 となったものの、今季ここまで原因を特定できないペース不足で苦しんでいただけに、結果として一步前進できた土曜日の予選となった。決勝は明日 300km 先。HOPPY team TSUCHIYA はポイント獲得へ向けて、また一步一歩歩を進めていく。

#### ▽土屋武士監督コメント

「富士のレース後、ガレージ帰ってすぐに検証して、問題これかな、というのを見つけられて。今回は新しいパーツを入れ込んで。2 点ほどなんですけど。それが功を奏して、ようやくフツにクルマが動いてくれるようになったと。正直いうと、『やっとここからレースをできるようになるかな』という手応えがフリー走行であって、予選は孝允がしっかり通ってくれたんで。正直鈴鹿は（ライバルたちの）サクセスウエイのことなど考えても Q1 は突破しないといけな思っていたので、まあ及第点というか最低限の部分ではよかったかな、と。ただ、予選 18 番手という意味ではまだまだ遠いので、ここはウチの車には得意のサーキットだと思っているので、それでようやくこのポジションということはまだまだやること沢山だな、と感じているので、明日もまた確実にステップを上げていきたい。（決勝は）ウチらしくチャレンジングにやれることをしっかりやって、面白い、いいレースができるように頑張ります。暑いですので皆さんも体調に気をつけてレース、応援してください！」

#### ▽松井孝允選手コメント

「前回の富士から、クルマの進化をしっかりと感じる事ができて、そのおかげで Q1 突破はできたんですけど、まだまだトップとは遠いなということも痛感したので、嬉しくもあり、悔しくもありというか。チームはできることはやってくれているので、結果で応えられれば。まずは決勝を走り切って、今回は上げられるチャンスも、決勝のペースもいいと思っているので、しっかりと追いつけて次の大会に繋がれたらいいなと思っています。（車のフィーリングが良くなった？）気持ちよく走るためには、止まって、曲がって、加速する、というすごくシンプルなんですけどそこに難しさがあって、チームが改善してくれたところはしっかりと感じる事ができたので、方向性は間違っていないというか。セットアップでやったことにもきちんと反応するし、今後楽しみはすごくあります。（決勝に向けて）しばらくポイントも取っていないので、まずはポイントを取って次に繋げるレースをしていけたらなと思います。よろしくお願いします！」

#### ▽佐藤公哉選手コメント

「予選日は何事もなく終了しまして。Q1 は松井選手が素晴らしいアタックで通過してくれました。Q2 を今回任されて、ちょっと期待しちゃってたんですけど、なかなか思い描いていたようにはならず、タイムも伸び悩んでしまいまして、自分的にももうちょっといけるかな、と思っていたんですけど、ちょっと難しい部分があって。そこは木野エンジニアと武士さんと松井さんが一緒にデータを見てくれて、まあちょっとどうだったか、ということを検証して明日に挑もうかな、という感じです。予選はもうちょっと上いけるかなと思ってたんですけど…すいませんでした。フリー走行からの流れで行くと、今まで苦しいシーズンを過ごしてきた、流力的には大きく何かが変わったような気はしていました。乗った感じでも、車の雰囲気もやっぱり、この短い期間でアジャストしてきてくださって、雰囲気も変わってますし、ここから流れが変わっていけばいいな、と思ってます。明日はまずは体調に気をつけながら。決していいポジションからのスタートではないんですが、まずはポイントをしっかり取って、次戦菅生にしっかりと繋がられるようなレースにしたいと思います」



◎この度 YouTube チャンネルを開設しました！ぜひご覧ください、またチャンネル登録も是非お願いいたします。

URL [https://www.youtube.com/@tsuchiya\\_25](https://www.youtube.com/@tsuchiya_25)

【問い合わせ先】

つちやエンジニアリング合同会社

〒252-0822 神奈川県藤沢市葛原2507

TEL : 0466-49-5010 FAX : 0466-49-5011

担当： 土屋・豊原